



第18号

発行日 平成24年4月吉日(2012)
 発行 新潟産業大学校友会
 責任者 石 塚 延 栄
 編集 新潟産業大学校友会事務局
 新潟県柏崎市軽井川4730番地
 TEL0257-24-8444 (直 通)
 FAX0257-24-8444

本部定期総会のご案内

会員の皆様には益々ご健勝でご活躍のことと思います。日頃から校友会活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、平成24年度は3年毎の定期総会開催年であります。又、大学では個性豊かで魅力的な大学を目指し、新たな改革へ向け努力されています。

尚、当日は学園の現況や今後の展望などをご報告申し上げます。つきましては、下記により開催致しますので、是非、ご出席下さいませようご案内申し上げます。

1. 日 時 **平成24年11月24日** (土) 13時30分
2. 会 場 **メトロポリタン松島** (柏崎市大字鯨波乙1828番地) TEL: 0257-24-5505
3. 日 程
 - ① 受 付 12:45 ~
 - ② 総 会 13:30 ~
 - ③ 三叉路 松井正道ライブ 14:45 ~
 - ④ 懇親パーティー 15:30 ~ (抽選会: 青濤の酒30本・棚田米30本)
 - ⑤ 閉 会 17:30
4. 会 費 男性、女性 5,000円 (当日会場で受付)
5. 出欠の有無
 - ① 校友会報同封の出欠ハガキに50円切手を貼って申込み下さい。
 - ② 随時受付致します。11月2日 (金) まで必着
6. 送迎バス 柏崎駅 (発着場所: ホテルサンシャイン前~メトロポリタン松島)
 ホテルサンシャイン前発 ■ 1回目 12:30発 ■ 2回目 14:00発
 メトロポリタン松島発 18:00発
7. 宿 泊 各自予約のこと
8. その他
 - ① 新潟県内は送迎バス用意 (バス運行表は2ページをご覧ください)
 - ② 新潟県外・佐渡支部の出席者には旅費補助 5,000円 (当日支給)



本部定期総会寄付広告のお願い

本年は3年毎の定期総会年であります。開催にあたり多くの卒業生、市民のみなさんから知って頂きたく、地元新聞の「柏崎日報」に掲載する予定です。

つきましては、「本部総会開催記念募金」を致しますので、企業並びに個人や同期会の仲間を出してみませんか。どうか、皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

1. 申 込 方 法 ハガキ・電話・ファックス・Eメールでお申込下さい。
2. 寄付広告名 卒期および名前、会の名称を掲載致します。
3. 募金の金額
 - ① 法人寄付: 1口 5,000円
 - ② 個人寄付: 1口 3,000円
4. 募 金 期 間 平成24年10月20日まで
5. 募金の払込方法
 広告掲載を申し込まれた方に、後日、振込先をご連絡致します。

問い合わせ先

〒945-1355 柏崎市軽井川4730
 新潟産業大学校友会
 TEL 0257-24-8444 FAX 0257-24-8444
 E-mail: seitou-h@vis.nsu.ac.jp

本部定期総会県内送迎バス運行表

1. 飯豊、新潟、佐渡、県央支部 (乗車責任者: 河野正人新潟支部長)

往	新潟駅南口プラーカ1前 11:30 発	▶▶▶▶▶	三条・燕インター料金所前 12:00 発	▶▶▶▶▶	メトロポリタン松島 13:00 着
復	メトロポリタン松島 18:00 発	▶▶▶▶▶	三条・燕インター料金所前 19:00 着	▶▶▶▶▶	新潟駅南口プラーカ1前 19:30 着

2. 魚沼、長岡支部 (乗車責任者: 金井英雄長岡支部長)

往	十日町市役所前 11:10 発	▶▶▶▶▶	長岡駅東口ニューオータニ正面玄関前 12:10 発	▶▶▶▶▶	メトロポリタン松島 13:00 着
復	メトロポリタン松島 18:00 発	▶▶▶▶▶	長岡駅東口ニューオータニ正面玄関前 18:50 着	▶▶▶▶▶	十日町市役所前 19:50 着

3. 妙高、上越支部 (乗車責任者: 野本宏之上越支部事務局長)

往	新井駅前 11:20 発	▶▶▶▶▶	直江津駅北口 12:00 発	▶▶▶▶▶	柿崎交番前 12:30 発	▶▶▶▶▶	メトロポリタン松島 13:00 着
復	メトロポリタン松島 18:00 発	▶▶▶▶▶	柿崎交番前 18:30 着	▶▶▶▶▶	直江津駅北口 19:00 着	▶▶▶▶▶	新井駅前 19:40 着

☆11月24日(土) 指定場所からご乗車下さい。

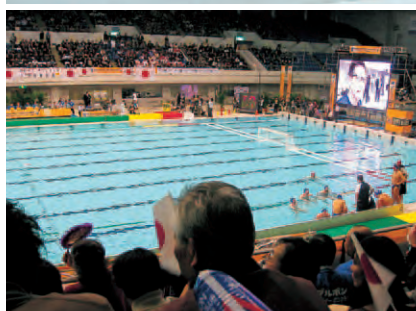
☆時間は厳守して下さい。

☆乗車責任者は乗車者の確認をする。

☆頸城自動車(株)大型バス利用



平成21年11月
本部総会模様



伝統と歴史ある 2012年の 新潟産業大学

求められる人材の育成に邁進

新潟産業大学学長 広川 俊男

校友会会員の皆様には、いつも温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

今年は、4年制の新潟産業大学が誕生して25年目にあたり、前身の短期大学、および創設期の専門学校時代の歴史が刻まれたことになりました。卒業生は既に1万人を超えています。

私は昨年、中国、韓国、インドネシアを訪ねましたが、行く先々で、その地に根を張り生き生きと活躍する卒業生（日本人と留学生）にお会いしたり、また、電話でお話をしたりする機会を得ました。本学のミッションである「地域社会や企業を力強く支える人材の育成」が立派に達成されていることを実感し、あらためて本学の歴史と存在感を認識しました。

そして、もうひとつ再認識したことは、本学の「小さな大学」という特性でした。彼らと私は、会話に登場する教職員や友人たちの固有名詞をほぼ完全に共有化できたのです。小さいが中身が濃く、ぎっしり詰まった様子を示す「コンパクト」こそ、わが新潟産業大学の特質であり、マンモス大学ではまねのできない特性です。

地域との関わりも広がっています。新年早々、市内高田地区コミュニティセンターの皆様が、本学内で「餅つき」をして学生達と交流して下さいました。

2月には柏崎商工会議所主催の「柏崎に関する研究」発表会があり、若手教員の指導の下でまとめ上げられた学生の成果が市民の前で披露されました。

また、除雪ボランティアが組織され、その活動に多くの方々からの感謝の声が届きました。

この一年は、これまで以上に学生一人ひとりに細やかに目を配り、地域との連携を深めながら、「求められる人材の育成」に邁進してまいりたいと思います。

最後に「部活動」についてご報告いたします。

オリンピック出場は叶いませんですが、水球の青柳勸先生と小出来さん（1年生）が日本代表選手として、ワールドリーグ戦への出場を目指しています。

ライフセービングの全国大会が柏崎で開催されることが決まり、本学の選手やOBの活躍を目の前で観戦できます。

伝統ある卓球部にとって久々に二桁の選手が揃いますし、空手部、ゴルフ部なども、全国大会レベルでの活躍が期待できます。

バレーボール、バドミントン、バスケットボール、野球などのチームや茶道部、文芸部、書道部、写真部、伝統芸能文化部などの文化系部クラブも熱心に活動しています。

どうぞ、倍旧のご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。



米本位制地域通貨による 地域活性化の取り組み

阿部ゼミナールの活動報告

新潟産業大学経済学部 准教授 阿部 雅明



現在、阿部ゼミナールでは米本位制地域通貨を柏崎市で広める活動を行っています。地域通貨とは「円」や「ドル」などの法定通貨とは違い、限られた地域内での流通のみに限定される、地域独自のお金です。お金と言っても、銀行に貯金できる訳ではなく、サービス券や割引券、子供時代に発行した肩たたき券の延長と考えても良いかもしれません。

地域通貨は日本国内だけでなく600種類ほど発行されているとのことですが、その中には、発行はしたものの、その後活発な流通には至らず、事実上休止状態のものもありますが、早稲田大学の学生が中心となって活動している「アトム通貨」や、千葉の「ピーナッツ」など、地域の特産などを通貨の名前にした地域通貨で活発に取引を行っている地域も多数あります。

地域通貨の目的と基本的な仕組みは非常に単純です。目的は地域経済の活性化と地域コミュニティの再生にあります。仕組みは、ボランティア活動に参加するなど、地域活性化に貢献すると地域通貨がもらえ、地元協賛店でその通貨を使用できるといったものです。

今、一般的な消費は大型店やインターネットショッピングへと流れる傾向にありますが、地域通貨は地域内の協賛店のみで使用できます。この地域通貨の特性により、大型店や大都市へのお金の流出を食い止め、地域内でお金の循環を取り戻そうという取り組みなのです。

阿部ゼミではこの地域通貨の活用



えました。つまり通貨の価値の土台をお米にしたのです。このお米は高柳で棚田保全活動をされている農家のご協力のもと、ゼミ生と手植えをし、収穫した、無農薬、天日干しのはぎ掛け米です。棚田保全をするほど地域通貨の発行枚数が増え、地域通貨の流通規模が拡大するのです。

最後になりましたが、この地域通貨の名称は「風輪通貨」です。最初は小さな風ですが、その風が輪になって大きな風を柏崎に巻き起こすことを目標にゼミ生と取り組んでいます。ぜひ応援のほど、よろしく願います。

また一つ消えた

柏崎の宝物(文化財)

小栗俊郎(短11回)

旧柏崎陣屋の長屋取り壊し、利活用策見いだせず……。の記事が柏崎日報に載ったのは6月23日頃の事である。なぜ利活用策が見えだせないのか。なぜ全市挙げての市民運動や

行政支援・討論会等保存のための策がなかったか大変疑問の残る解体となつてしまった。

長屋は江戸時代、桑名藩士の住居として使用されていた。歴史的な建物としての要望活動(有形文化財登録)もあった。「部屋に残された刀復跡のある柱は残す」という。ならば

全体を残す工夫はなかったのか。江戸から明治初期にかけ、柏崎刈羽の行政の中心であつた。今の子ども達に伝えるパワースポットだ。

柏崎陣屋は、松平定賢が1741(寛保元)年、高田から白河へ移封となり、これまでの扇町陣屋を廃し、翌年から陣屋は約126年間、越後221か村を支配した。越後領を支配する御役所・天領を預かる役所、各郡代官の諸ある刈羽会所などの諸役所があつた。明治維新後は柏崎県庁がおかれた。(明治6年)1878年まで存続していた。柏崎県庁は、頸城、魚沼、古志、



解体作業の陣屋 役人住居跡



登録有形文化財を目指した陣屋役人住居



さら地になった陣屋 その一部が残る

刈羽、三島の5郡を管轄した。最大の柏崎県であつた。しかし、新政府はここを新潟県へ合併する方向で策定していたようである。当時柏崎県には参事として島谷断三が任命されたにすぎなかった。明治6年6月10日に新潟に合併されたのである。大久保陣屋は高台にあり眺めの良い所である。消えた柏崎の文化財はいくつかある。昔を忍び歴史や文化を学び、柏崎の発展を考えたり、そこに生きた人々の夢を連想したりすることは重要な事である。有形文化財登録もいいが、かつての第四銀行、昔の泉屋、旧目石レンガ塔など再興出来ない。大きな文化財が消えたことは無念である。

写真活動を通して学んだこと

新潟産業大学経済部4年

田村 健



わたしは学生生活でさまざまなことにチャレンジしてきました。今振り返ると中学・高校では想像もしいほど、大学ではいろいろなことに取り組めたと思います。

まず、大学に入學してから合計3つの部・サークルを立ち上げました。立ち上げた順に「写真部」「スポーツシューティング部」「伝統芸能文化部」です。うち、写真部と伝統芸能文化部は公認部まで昇格させることに成功しました。写真部は高校生から始めた写真活動が続けるべく大学でもやろうと思ったら写真部が存在しなかったので、「それなら、自分で作っちゃえ!」と思い1年生の冬に写真サークルを立ち上げました。写真活動を通してさまざまな経験をさせて頂きました。特に印象に残っているのは「伝統芸能文化部」と深いつながりがあります。柏崎ぎおん祭りの踊りをテーマとした写真



展(個展)の開催です。2年生の夏から写真を撮り溜め、秋に写真展を開催しました。はじめは全く考えていませんでしたが、好きで写真をバシバシ撮っていたら「せっかくだから、写真展でもやったらどうか?」と声をかけてもらったのがきっかけで



第2回 神楽人写真展

す。現在では第3回目まで続いております。他には、新潟国体ボラ・フリーマガジン「かしナビ」編集員・NPO「沖ネット」ボラ・写真家清水哲朗「モンゴル写真展」誘致などの撮影活動が挙げられます。このような活動を通して人脈を広げることができ、柏崎市役所福祉課より「第2次成人式」の写真コーナーを任せられました。市でも初めての試みなのでどのようにしたらよいか分からない状態からプロジェクトがスタートしました。人足確保から写真のデザイン、作業工程など市と話を詰め合



伝統芸能文化部

いながら本番を迎えました。記念日に撮る写真ほど記憶に残るものはありません。おじいちゃんやおばあちゃんから「いや、嬉しい!ありがとう。」とお言葉を頂いた瞬間が1番幸せを感じる瞬間でした。

未知のことに挑戦することは不安でいっぱいですが、目的を達成した時・他に認められた時に努力が報われたと感じます。これから社会人として生きていけるように新潟産業大学で学んだことを忘れずより精進して務めて参ります。



海外留学

二年間の中国留学を体験して

新潟産業大学経済学部4年 若月正明

私は大学生活を充実させたいという思いから、学友会やサッカー部など様々な部活動に参加しました。「大学生活は自分次第でいくらでも変えることができる」という先輩の言葉から、思い切って留学を決意し、2年間中国へ留学しました。

中国での生活はやはり大変で、慣れない2人部屋を韓国人と過ごしました。授業も全部中国語なので最初は全然聞き取れず、クラスメイトの教科書をめくる「ペラッ」という音を聞いて、自分もページをめくると

いう状態でした。それでもルームメイトはとてもいい人で、同じクラスにも日本人はいなかったため、中国語を勉強する環境としてはとてもよかったです。見るものの全てが新鮮で、毎日がとても充実していました。時間とともに友達が増え、中国語のレベルも少しずつ上達してきました。「もっと上達したい!」と思い、夏休みを利用して1ヶ月間、中国国内を1人で旅行しました。ホテルや電車のチケットなど手配のほとんどを自分でやりました。北京で電車で

乗り遅れてしまったときには、その駅で知りあった家族に「うちに泊まりな」と言われ、一泊させてもらったことがあります。一人部屋を借り、食事まで用意してもらいました。中国人の優しさを感じた瞬間でした。行くところどころで、その町の良さや言葉のなまりがあり、旅行する楽しさを覚えました。

留学2年目の冬休みには片道38時間の電車に乗って雲南省まで行きました。留学期間中10ヶ所以上旅行してきました。中国語もだいぶ上達し、校内留学生スピーチコンテストでは最優秀賞を受賞しました。

帰国後、中国語検定2級を取得し、今ではチューターとして留学生のサポートを行っています。留学生生活は自分自身を大きく成長させてくれましたし、前よりも積極的になったと感じます。2年遅れで卒業しますが、全く後悔はしていません。様々なことに取り組み、社会人になっても充実した生活を送りたいです。

新潟産業大学校友会講演会

～市民のみなさまと卒業生のリフレッシュ講座～

校友会では大学と連携し、市民のみなさまと卒業生のためのリフレッシュ講座、講演会を毎年開催していますが、今年度も地元柏崎で開催致しますので、是非、会員の方は市民のみなさんをお誘いの上、大勢参加して頂きたくご案内申し上げます。

1. 日時 平成24年5月26日(土)
14:00～15:30(13:30開場) 入場無料
2. 会場 新潟産業大学A号館 A111教室
柏崎市軽井川4730番地 (TEL:0257-24-6655)
3. 演題 「東日本大震災から見た安全安心で
持続可能な国土利用への課題」
4. 講師 氷見山幸夫 氏

講師紹介 新潟県立柏崎高等学校卒業 ■静岡大学理学部生物学科 ■東北大学大学院理学研究科博士課程前期課程(理学修士) ■北海道地理学会会長(2001.7-2005.7) ■アジアの持続可能な土地利用研究プロジェクト代表 ■日本科学オリンピック推進委員会理事 ■総合地球環境学研究所客員教授 ■日本学術会議会員(地球環境変化の人的側面国際研究計画) 分科会委員長 ■地球人間圏分科会委員長 ■北海道教育学部教育学部旭川校 教授

ふるさとへの 恩返し



樋口 芳曉 (大10回)

棚田オーナー募集

今からちょうど3年前、「ふるさとへ恩返しをしたい!」と強く思い、ふるさと柏崎へUターンする事を決めました。きっかけは、お盆休みに、実家の高柳へ帰省した時、「赤とんぼが、いなくなっちゃったんだ!」と91歳になる辰治おじいちゃんから聞いた事です。「赤とんぼがいらない!」私は、ビックリしました。

高柳では、赤とんぼの問題だけでなく、農業の後継者不在、超高齢化など暗い話題ばかりでした。「これは自分の手で、なんとかしなければ!」と、その時思い、生まれ育ち、大変お世話に



部を設立し、大学内の研究室を事務所として1部屋お借りし、活動しています。NPOの主な活動は、棚田オーナーを募集(年会費3万円又は1万円)し、棚田で昔ながらの天日干しのお米を収穫して、オーナーへ還元したり、山菜や自然薯など旬の里山の食材を年4回産地直送しています。旬の食材は、年配の方に大変喜ばれています。

なったふるさとを元気にする目的で棚田プロジェクトを立ち上げました。柏崎に戻ってきてから、自ら田んぼに入り、無農薬での米作りをスタートさせましたが、1年目は家族にも理解されず、朝早くから夜遅くまで、一人黙々と草を取る日々でした。2年目は棚田を守るだけでなく、地域全体を元気にするために、広川学長の紹介で経済学部の阿部准教授とご縁を頂き、米本位制による地域通貨の研究開発に取り組みました。そして、母校である新潟産業大学の発展のためにもなればと考え、NPO法人環境資源開発研究所新潟支部



特に、昔柏崎に住んでいた方には、柏崎の食べ物がつっても懐かしいようで、感謝されています。

そして、山菜祭や収穫祭などのイベントを企画し、様々な方々と交流しながら柏崎の活性化に、少しでも貢献したいと奮闘しています。また、阿部ゼミの皆さんとは田植えから稲刈りまで、一緒に農作業をして、収穫したお米を紅葉祭で販売するなど、地域通貨の普及に取り組んでいます。そして、今年は産大の卒業生が協力して栽培する「青濤米」作りを計画しています。卒業生の皆さん、もし良かったら棚田オーナーや青濤米作りにご参加頂き、同窓の輪を広げ、一緒に思い出話に花を咲かせてみませんか?

■ 問合せ先 ■ NPO法人 環境資源開発研究所 新潟支部 担当：樋口(大10回) TEL:090-3532-3402

運営年会費の納入御礼とお願い

校友会員の皆様から、運営年会費を納入して頂きありがとうございました。みなさんの暖かい気持ちに支えられていることに改めて感謝し、厚く御礼申し上げます。

ご承知のように、運営年会費は校友会報の発行費用や各支部の運営補助金など活動資金の支援費として使用されております。また、会報も内容を更に充実させ、皆様から愛される校友会報にしたいものと頑張っております。

非常に厳しい状況の中ではありますが、是非とも、このような趣旨をご理解頂きご協力よろしくお願ひ申し上げます。

東京から陰ながら 柏崎を応援しています

白杵信雄(天1回)



大学を卒業してもう20年になりますが、校友会の活動には一度も参加できなくて申し訳ありません。今後は参加できるようがんばりたいと思います。

卒業後すぐに、東京都渋谷区役所で働き始め20年。現在は、建築や土木関係の部署で、交通問題や都市再開発、水害・防災対策等の仕事をさせていただいております。

また、休日には勤務先である渋谷区主催の知的障害者(児)水泳教室(日本でおそらく唯一となる通年で開催されている水泳教室です)の運営ボランティアや、東京都の防災ボランティア(被災建築物応急危険度判定員)などの活動をしております。

柏崎へは、卒業後も何度となく訪れておりましたが、何よりも驚いたのは、大学開設当時は建物は本館しかなく、とてもコンパクトな造りでしたが、いつしか建物が増え、近隣にも大学ができ、大学周辺が学園都

市に変化していたことにとっても驚きました。

中越沖地震の直後の8月には、ボランティアとして来柏しましたが、市の中心部は地震の縦揺れにより壊滅的な被害を受けており、えんま堂は、見る影もなく、海岸沿いにあった学生寮も、砂地盤で液状化現象が起きたために、建物が傾斜し、見るも無残な被害を受けており、とても残念に思いました。

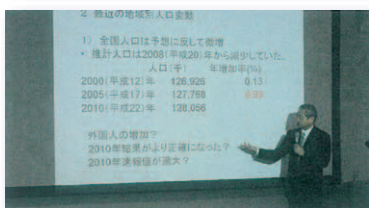
反対に、大学周辺は地盤が良くて、建物周辺の外溝部分が少し壊れた程度だったので、ホッとした記憶が残っています。

今はどのように復興されているか、また柏崎の地を訪れたいと思っています。

柏崎が一番元気になる「ぎおん柏崎まつり」の季節に。

会員のひろば

新潟産業大学校友会本部定期役員会と講演会を開催



昨年5月28日(土)、新潟産業大学において、本学同窓会組織である「新潟産業大学校友会」(会員数:10,229名)の本部定期役員会と、「校友会講演会」が開催されました。

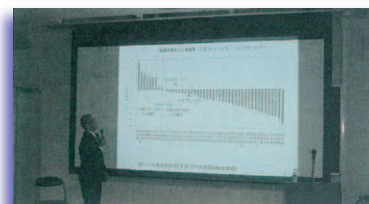
本部役員会では、平成22年度事業報告及び一般会計収支決算、平成23年度事業計画及び一般会計収支予算(案)が審議の後、承認されました。

役員会終了後には「校友会講演会～卒業生と市民を対象としたリフレッシュ講座～」として、本学客員教授である高橋眞一氏(神戸大学名誉教授・前日本人口学会会長)による講演会が、市民にも開放して開催されました。テーマは「事例から学ぶ人口減少と地域の変貌ー柏崎市にも視点を置いてー」。

平成22年に実施された最新の国勢調査の結果に基づき、都道府県、市区町村の人口規模別にみた人口変動を、過去から現在までの時系列と、地方から都市圏への地域的移動の両面において解説されました。

そして最後に、人口減少への対策として、未婚、晩婚化への対策、人口減少地域における雇用対策の必要性の提言がありました。

新潟産業大学校友会では、会員相互の親睦を期し、母校の発展を図ることを目的として、今後も会報等を通じて、様々なご案内をさせていただきます。会員の皆さま、ぜひご参加下さい。



支 部 だ よ り

新潟支部定期総会報告



新潟支部長

河野 正人

(短17回)

昨年10月2日(日)、新潟第一ホテルで支部総会を開催。校友会小栗



副会長、佐藤長岡副支部長、渡辺県央支部長、内山柏刈支部長、四名の方々から遠路ご参加頂きました。総会終了後の懇親会も大変和やかに盛会となりました。新潟支部は、新潟市8区の地域1455名(平成23年4月1日現在)の最大会員数で構成されていますが、旧飯豊支部、旧県央支部それぞれから新潟支部に編入された地域への会員相互活動が遅々として進んでいません。今年は、この課題への取り組みをいたします。8区の各区毎から支部の役員を2〜3名ずつ構成する。

特に支部会員数の約70%を占める産業大学卒の会員から積極的に参加いただけるように会合を設けます。

新しい人から一人でも多く参加してもらうことを目標に、支部活動を工夫しながら努力して参ります。

本年は三年に一回の本部総会が11月に予定されています。支部の動員目標数を達成し、柏崎で校友会の皆様と再会を楽しみに支部活動を行います。

長野支部定期総会報告

長野支部長

綱嶋 正幸

(短6回)

平成23年度定期総会を昨年12月3日、長野駅前「もみじ茶屋」において、来賓に本部石塚会長、同片桐事務局長、妙高支部畑山支部長をお招きし開催しました。議題は、「平成23年度本部役員会模様」「支部長・事務局長連絡会議模様」「支部活動状況報告・収支決算報告」「今後の取り組みについて」等でした。なお、当支部は平成11年11月に発足以来12年目を迎えた第7回の定期総会であり、多数の会員参加を期待していましたが、参加者が少なく残念でした。原因については、会員の意識(関心)が薄い。開催時期に問題があるのであるのでは等の意見ができました。このような意見を踏まえ、「継続は力なり」で

そうか！

今でも新潟短大生

渡辺スミ子

(短16回)

平成23年11月5日(土) 越後長岡よもぎひら温泉和泉屋にて、第4回



少しでも多くの会員が参加できる体制づくりを進めます。次回の定期総会に向けて、本部、近隣支部との連携を密にし鋭意取り組んでいきたいと思えます。

同期会を開催しました。男性12名、女性11名、計23名の出席したい、出席できた人達の同期会です。20代で渡米された女性の方も駆けつけてくれました。還暦も終わり古希にもまだ間がある今、なごやかで温かな集いを楽しむ事が出来ました。

懇親会の始めに記念写真を撮り、

母校地元で 同期会を開催しませんか！

★柏崎地区同期会用モデルコース (10/下～11/下)★

1 日目

柏崎駅前ホテルサンシャイン前

10:00

松雲山荘の紅葉・木村茶道美術館

10:15 (美術品にてお点前を頂きます) 11:30

ドフリ麗子
半カラフル

市内にて鯛茶漬

12:00

13:00

青海川さけのふるさと公園

13:30

14:30

恋人岬・日本海鮮魚センター

14:45

ショッピング

15:30

原酒造酒彩館

16:00 (試飲) 16:30

市内ホテルにて同期会開催・記念写真後懇親会

17:00 ※宿泊地

●岬ひとひら ●浪花屋

●メトロポリタン松島 ●シーポート etc

2 日目

ホテル 朝食後解散

9:00～10:00



お申し込み・お問い合わせは

(株)第一旅行サービス

〒945-0051 柏崎市東本町1-1-2

TEL 0257-21-1551(代)

FAX 0257-21-0087

携帯 090-3343-2189

E-mail ftsjapan@kismet.or.jp

担当 代表取締役 田中茂行 (短17回)

※上記はモデルコースであり時期及び人数によりアレンジ可能です。 お問い合わせ下さい。

<備考> 今年はロンドンオリンピック 7/27(金)～8/12(日)17日間

韓国麗水(ヨス)万博 5/12(土)～8/12(日)93日間

日中国交回復40周年 etc

新潟空港も大幅に便利になりました。便数増加と新潟空港←→成田空港開設



翌朝には出来上がりしました。その後、自己紹介と近況報告、久しぶりの談話。短大時代の恋愛談義、そして「青い山脈」「どじよっこふなっこ」「紅葉」「故郷」の4曲を皆一緒に歌って、しみじみと歌い上げました。二次会でのカラオケ。宿の語らい。

昭和39・40年と安田校舎で共に学んだ私達に、あつという間に戻ったのです。

そうか！46年間の純朴な新潟短大生に、乾杯。

新潟産業大学に学ぶ学生達の活躍

柏崎市体育協会は、優秀な競技成績をあげ柏崎地域の体育・スポーツの振興に功績のあった団体や個人に対し、毎年表彰を行っています。

今年も本学から団体1組と2名の学生が競技者賞を受賞し、2月4日(土)に「優秀体育人表彰式」が柏崎市産業文化会館で行われました。

<スポーツ栄誉賞>

◎経済学部助手 青柳 勸

第14回水泳世界選手権(水球男子)11位

<競技者賞>

◎水球部男子(野一色健太(4年)・秋元恵臣(4年)・屋富祖達郎(4年)・金城徹大(3年)・清水涼太(2年)・二野下浩之(1年)・仁添敬介(1年)・永田三四郎(1年)・林和希(1年)・山田翔太(1年)・船橋佑(1年)・宮内悠(1年)以上12名)

◎梅川達矢(3年) 空手道部

◎小林 匠(3年) 空手道部

平成23年 公認部大会成績一覧表

クラブ名	大会名	部門・種目および大会出場者名(学年)		成績
空手道部	第19回北信越学生空手道選手権大会新人戦(12月)	個人男子組手	梅川達矢(経3)	優勝
			小林匠(経3)	準優勝
			池田政道(経2)	出場
水泳部・男子(水球部門)	第20回中部学生水球選手権大会兼日本学生選手権大会予選(8月)	秋元恵臣(経4)、野一色健太(経4)、屋富祖達郎(経4)、金城徹大(経3)、清水涼太(経2)、二野下浩之(経1)、仁添敬介(経1)、永田三四郎(経1)、林和希(経1)、山田翔太(経1)、船橋佑(経1)、宮内悠(経1)		優勝
水泳部・女子(水球部門)	第15回東日本水球リーグ戦(5月)兼全国女子東日本地区予選	岸野典子(経4)、水科彩香(経4)、吉田雅美(経2)、前原みどり(経1)、小出未来(経1)、池田桜子(経1)、能村美優(経1)、村井愛美(経1)		2部5位
	関東学生リーグ(5~6月)得点王	小出未来(経1)		1位
	水球女子日本代表(15名)選出(翌1月オリンピック予選)	小出未来(経1)		代表選出
ライフセービング部	第24回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会(5月)	50mマネキンキャリー	大野翔平(経2)、大滝雄一郎(経2)	出場
		100mマネキン・トウ・ウイズ・フィン	安澤勇次(経3)、小山博紀(経2)	
		SERC	安澤勇次(経3)、大滝雄一郎(経2)	9位
		4×50m障害物リレー	大野翔平(経2)、他学外者3名	優勝
		4×50mメドレーリレー	大野翔平(経2)、他学外者3名	7位

新潟産業大学の就職状況 (就職資料より)

2011年度 就職行事 拝見 ■



●キャリアアドバイザーとの面談【平成23年4月～】



●自己表現のワークショップ【平成23年10月】



●メーキャップ講座【平成23年11月】



●就職合宿研修会 グループディスカッション【平成23年12月】



●就職合宿研修会 面接練習【平成23年12月】



●学内合同企業説明会【平成24年2月】

平成24年3月卒業予定者就職速報！

平成24年1月末日現在

		経済学部			産業システム学部			学部合計		
		男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	合計
今年度	内定率 (%)	66.0%	58.8%	64.3%	60.0%	—	60.0%	65.5%	58.8%	64.0%
	内定者数	35	10	45	3	—	3	38	10	48
	上場企業内定率 (%)	5.9%	0.0%	4.7%	0.0%	—	0.0%	5.4%	0.0%	4.3%
	上場企業内定者数	2	0	2	0	—	0	2	0	2
	就職希望率 (%)	74.6%	85.0%	76.9%	55.6%	—	55.6%	72.5%	85.0%	75.0%
	就職希望者数	53	17	70	5	—	5	58	17	75
		71	20	91	9	—	9	80	20	100

注1: 外国人留学生を除く

注2: 内定率(%) = 内定者数 ÷ 就職希望者数

注3: 就職希望率(%) = 就職希望者数 ÷ 卒業予定者数

注4: 上場企業内定率(%) = 上場企業内定者数 ÷ {全内定者数 - (公務員合格者数 + 個人経営家業内定者数)}

事務局だより

今冬は平成18年豪雪をこえる記録的な大雪となり、各地で被害が続出しています。地球規模で環境破壊が進みこのような異常気象になっているのではないのでしょうか。

昨年は3月11日に発生した東北大地震、福島原子力発電所の事故による放射能汚染、また、各地での台風および集中豪雨による被害等、まさに日本列島を震撼させた年でありました。震災から1年が経ちましたが、復興、復旧には程遠くいまだに多くの人達が全国に避難され、つらい日々を送られています。

一方、ロンドンオリンピックアジア予選兼アジア選手権に出場した日本男子代表に新潟産業大学助手の青柳勸監督兼選手が所属するブルボンウォーターポロクラブ柏崎から5選手が出場しましたが、惜しくもロンドン五輪の出場を逃してしまいました。4年後のオリンピックをめざし、水球の町、柏崎を復活するためにもサポーターになつて応援しましょう。

校友会も、昨年は高橋真一新潟産業大学客員教授による講演会を開催し、大学関係者や多くの市民の方か

ら聴講を頂きました。今年も大学と連携し、講演会を実施致しますので、多くの会員、市民の方の参加をお待ちしています。

ところで、校友会では、ホームページを開設していますので、新入会員のみなさんは、自分の所属支部をご確認下さい。所属支部の行事には是非参加して頂き、交流の輪を広げてもらうことを願っております。

平成23年度の動き

◆本部定期役員会(5月柏崎市)

決算、予算、事業報告、事業計画を審議承認

卒業生と市民のための講演会(講師・高橋真一氏)

◆支部長、事務局長会議(10月長岡)

◆新年度事業計画、及び予算会議(24年3月柏崎)

◆各支部総会の開催は次のとおり
支部総会

※柏刈(6月柏崎)

※東海(9月岐阜)

※県央(9月三条)

※関東(10月東京)

※新潟(10月新潟)

※長野(12月長野)

◆職域、同期会の開催は次のとおり

※専1期会(10月赤倉)

※短16期会(11月長岡)

平成24年度予定される動き

◆本部定期役員会(5月柏崎)

◆青年部長会議(7月柏崎)

◆支部長、事務局長会議(10月長岡)

◆支部総会の開催予定

※北陸(6月)

※柏刈(6月)

※飯豊(7月)

※佐渡(9月)

※長岡(9月)

※魚沼(9月)

※妙高(10月)

※上越(10月)

◆本部総会の開催 柏崎(11月)

◆職域、同期会の開催予定

※専1期会(11月)

この他予定されている会合がありまして、以下に本部事務局までご連絡下さい。

◆本部事務局開局日：月、火、木、金の各曜日 10時～15時まで

T945-11393

柏崎市軽井川4730

新潟産業大学校友会事務局

TEL 0257-24-8444

(直通)

FAX 0257-24-8444

E-mail: seitou_h@vis.nsu.ac.jp

編集後記

突然の大豪雪。越後人は冬と戦う。東日本大震災3・11からまもなく一年。温かな励ましや心からのやさしさを発信したい。

明るい話題は「水球の町」柏崎から世界へオリンピック予選でカザフ(カザフスタン)に惜敗。新潟産業大学に勤務する青柳勸(かん)さんを中心とする柏崎(日本)選手の活躍だ。次のリオデジャネイロを目指し水球レベルを高めて欲しい。

本年は、校友会総会開催年。短大卒の高齢化による早目の産大卒へのパトントタッチを進めたい。各支部の活性化も工夫が重要。

寄稿された方々に厚く御礼申し上げます。

小栗 俊郎(短11回)



ロンドンオリンピックアジア予選兼
アジア選手権